

「相棒」(内海隆一郎)

第三段落(91・下5～93・下6)

第四段落(93・下8～95・上4)

第五段落(95・上6～96・上9)

問一 次のカタカナを漢字にせよ。

- ①毎朝早くジュツキンする。 ②タイガイは不機嫌になる。 ③修理代をジタイする。
 ④キンチョウした面持ち。 ⑤権利をジョウトした。 ⑥整備士のメンキヨを持つ。
 ⑦上司のサシズに従う。 ⑧その部門からテツタイする。 ⑨家をテイトウに入れる。
 ⑩店にすべてをカける。

問二 次の語句の意味を書け。

- ①板につく ②当てが外れる ③なすすべもない ④くを尻目に
 ⑤半信半疑 ⑥敬意を表する ⑦間を置く ⑧折り紙をつける

問三「原くんは少し見直す気持ちになった」(91・下5)とあるが、原くんはなぜそのような気持ちになったのか。

問四「一カ月が過ぎたころ、さらに原くんはびっくりさせられてしまった」(92・下6)とあるが、それはなぜか。次から選べ。

- ア 運転席で中年の女性がこわばった顔つきになったのを見て木山さんも驚いて、一瞬立ちすくんだから。
 イ ものの五分とかからずに車を修理し、しかも修理代まで辞退したから。
 ウ なすすべもなく見守っている原くんを尻目に、木山さんが駆け寄ったから。
 エ 若いころからカーマニアだった木山さんが、うれしそうに車のボンネットを開けたか
 ら。

問五「修理代を取らないとはね。」(93・下3)とあるが、修理代に対する考え方から読み取る原くんと木山さんの違いについて説明せよ。

問六「原くんは悲鳴に近い声を出した。」(94・下7)とあるが、それはなぜか。

問七「原くんが、しばらく考える様子をしてからほえんだ」(96・上4)とあるが、このほえみには、原くんの木山さんに対するどのような気持ち表れているか。